

【3月の休館日】2日(月)・9日(月)・16日(月)・20日(金)・23日(月)・26日(木)・30日(月)

# 中央図書館創立 130 周年 イベントをとおして情報発信

## 1 講演会や講座を多数実施 記念イベントは毎回満員

講演会・講座

- 7/21 藤井青銅トークショー
- 9/7 歴史講座「筑波山と連歌」綿抜豊昭教授
- 11/2 記念式典&出久根達郎講演・市長ミニ対談「読書のたのしみ」
- 11/9 石田千講演「図書館のたのしみ」
- 12/1 東直子・穂村弘対談「読書と読者」
- 12/22 北村薫・北村暁子対談「本と本づくり」
- 1/16 歴史講座「常陸国風土記～編さんの謎を解き明かす～」黒澤彰哉
- 2/9 俳句講座「さくさく作ろう！」権美知子

## 2 多くの方にご協力いただきました 記念誌を発行

内容：「石岡市立中央図書館 130 周年に」綿抜豊昭氏（筑波大学図書館情報メディア系教授）  
沿革：おもな出来事・東日本大震災・活動紹介 ほか



※記念誌は図書館で貸出しています。

## 3 石岡市の教育に大きく貢献した二人 企画展を開催

「茨城県初の裁縫学校（10/24～12/26）～女性の教育普及と自立をめざした太田うめ～」  
「長峰塾～教育で作る新時代」（5/8～8/4）  
※ふるさと歴史館第18回企画展の巡回展示

筑波大学と共催「神話の里と連歌（8/1～9/27）～石岡市立中央図書館 130 周年記念企画～」

**3月のおはなし会**

- ◆こども図書館本の森  
午前 10 時 30 分から  
おはなし玉手箱：7日(土)  
ひよこのおはなしかい：12日(木)  
むかしむかしのおはなし会：21日(土)
- ◆中央公民館  
午後 2 時 30 分から  
おはなしフレンズ：14日(土)



ふるさと歴史館第21回企画展が、2月7日から開催されています。この企画展は、石岡市と八郷町の合併後、新たな広報紙としてスタートした『広報いしおか』に連載されている小さな記事を集めた展示です。その小さな記事とは、まさに本記事

## 時の記憶 シリーズ 173

企画展『広報いしおか』の小さな記事 - 時の記憶

問文化振興課（支所）  
TEL 43-1111（内線 1323）

### ふるさと歴史館企画展 広報いしおかの小さな記事 一時の記憶一

期間：2月7日(金)～5月6日(木)  
場所：ふるさと歴史館（総社 1-2-10）  
開館時間：午前 10 時～午後 4 時 30 分  
休館日：月曜（祝日の場合は、その翌日）  
※入場無料

「時の記憶」です。毎月 1 日号に掲載される市の歴史・文化に関する情報をお届けしているコーナーです。展示では、これまで連載されてきた記事の一覧を見ることよって「時の記憶」の全タイトルとその歴史を振り返ることが出来ます。また平成 17 年 11 月 1 日号に掲載された 1 作目から平成 26 年 2 月 1 日号の 100 作目までの記事を通覧することが出来ます。さらに、これらの記事内容を冊子としてまとめた『いしおか 時の記憶』も販売しています。ぜひ、ご来館ください。

俳句

いしおか俳句同好会

東光台 小泉 ちよ子  
寒の紅ベージュの似合ふ顔となり

東光台 福田 泰夫  
厄払う歳を無視して越す八十路

石岡 森田 愛子  
波乗りの鴨一線に列揃う

東光台 森 政枝  
来てくれて帰ってくれて冬ぬくし

山崎 若色 茂  
家族皆待つたのにと初電話

やさと俳句会

瓦谷 鈴木 恵子  
ちち母の如きふるさと初山河

瓦谷 石田 清美  
初春や令和の鐘に湧く力

瓦谷 山崎 景子  
老いてなほ夢を抱きて初詣

短歌

石岡短歌同好会

高浜 大嶋 全江  
一本の光となりてよひやみの  
中走りゆく特急ひたち

井関 木間塚 具子  
咲きほこる皇帝ダリヤ一夜にて  
寒さに負けぬナポレオンのごと

山崎 若色 茂  
ふるさとの兄住む家は仕舞家に  
庭の一隅つわぶきの咲く

八郷短歌会

山崎 鈴木 董  
寒風に揺ることなき梅の蕾  
かたきが春を待ちているかな

山崎 西口 はま子  
四十年近き歳月詠み来たる  
短歌それぞれにわが暮らしあり

俚謡 (都々逸)

石岡俚謡会

下林 加藤 弥生  
水の温みで 小川の土手に  
笑い初めた 猫柳

貝地 前島 くに子  
肩を寄せ合い 夜道を歩く  
そつと照らした 雪明かり

若松 川崎 洋子  
雪の便りが 届かぬ辛さ  
春を迎える スキー場

東大橋 醍醐 正夫  
食べて太るも 力士の稽古  
賀正めでたい ちゃんこ鍋

山崎 若色 茂  
金の卵が 作った戦後  
それを見ていた 上野駅

川又 前島 節子  
めつきり寒くて 年寄りじみて  
吐いた弱音が 情けない

総社 暁 夢華  
今年卒寿の 初夢書いた  
大器晩成 まだ若い

細谷 高橋 真希  
冬の夕方 水道管に  
毛布かけると 祖母の指示

東光台 福田 泰夫  
友の長靴 横目で睨み  
下駄で通った 雪の道

川柳

いしおか川柳会

柿岡 平野 敬  
デパートを幾つも巡り探し物  
子を叱る俺に似るなと子を叱る

山崎 若色 茂  
目的地裏に直線別な道

東石岡 安部 正一

投稿作品

山崎 荒井 幸子  
小柄なる母は手術を重ねしも前  
向き口癖きつと良くなる

真家 川崎 夫久  
良き子らに恵まれ幸や老の春

石岡 赤津 真行  
人恋し母既に亡し風の音それ  
とも人の戸を叩く音

大塚 松岡 元義  
寒風に咲くを誇るや寒椿

第18回 やさと俳句会

文化協会だより

この会は、昭和25年に発足し、発足以来欠かさず月例俳句会・機関誌の隔月発行を行ってきました。

NHK俳句など新作風を受容しつつ、伝統俳句を継承しています。昨年度には、8人が入会し、会に明るさが戻りました。月例句会は、吟行主体に実施しております。その他、新年俳句大会・瓦谷地区文化祭参加・忘年句会を開催しています。

心豊かに若々しい頭脳で俳句を詠み、郷土の文化向上の一翼を担うべく日々活動しています。

入会をお待ちしています。



やさと俳句会 会長 石田誠一郎

TEL 43-2412